

第53期 報告書

平成25年3月1日 ▶ 平成26年2月28日

株式会社 **イズミ** 証券コード：8273 <http://www.izumi.co.jp>

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵便物送付先] ^(※)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[電話照会先] ^(※)	☎ 0120-782-031

(※) 平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。

インターネットホームページアドレス
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

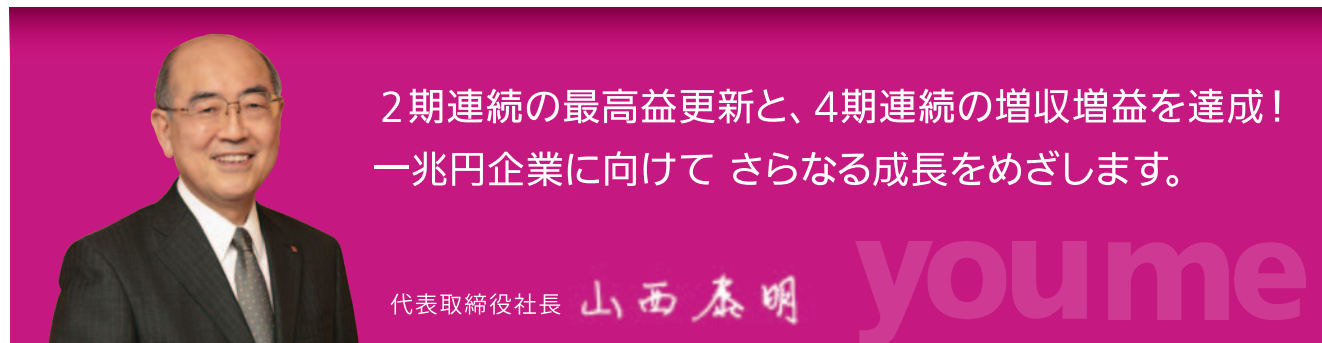
■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



**you
me**

株式会社 **イズミ**



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期の小売業を取り巻く環境は、円安や株式市場の活況による企業業績の回復を受け、消費者心理は徐々に改善し、一部では低価格だけではなくショッピングの楽しさが問われてきました。

当社グループでは、過去最高益を更新した前期に続き、当期も一段の成長を実現すべく“お客様のために尽くす”を実行方針として、お客様のご満足を追及してまいりました。特に商品・サービスの品質や価格、提供方法について、従来にとらわれることなく、お客様の視点に立った見直しを推し進めました。

そして店舗面では、将来の出店候補地の取得に努めると同時に、小商圈型店舗「ゆめマート」8店舗等を新設し、地域ドミナントのさらなる強化を図りました。また当社グループの新たな司令塔と位置付ける新本社が完成し、11月に移転しました。

セグメント別業績については、中核事業である小売事業では、引き続き“いいものを安く”をスローガンに、付加価値の高い商品を競争力ある価格で提供しました。また、週単位で販売動向の仮説を立て重点販売商品を投入し、売場の楽しさと鮮度感を高め販売増加に結びつけました。

テナント部門では、有力テナントへの入れ替えを促進し、店舗の競争力を向上させました。

さらに、これまで推進してきた生産性改善活動の成果を

確実に享受すべく各店舗での定着に努めるとともに、一段の改善を見据えた次段階の取り組みにも着手しました。

小売周辺事業では、ショッピング時のクレジット利用推進や電子マネー「ゆめか」の利用拡大を推し進めました。特に、電子マネー「ゆめか」は、会員数が急速に増加しており（前期末116万枚、当期末350万枚）、取扱手数料収入の増加だけでなく、当社グループ全体の集客力向上に貢献しました。

これらの結果、当期の営業成績は以下のとおり増収増益となり、過去最高益を更新することができました。つきましては、これらの成果を株主の皆様へ還元させていただくべく、1株当たり配当金を年間で43円へと増配させていただきます。

次期につきましては、4月以降の消費税増税後の反動による個人消費の低迷も予想されますが、当社グループとしては、お客様ニーズにきめ細かく対応していくとともに、引き続き“いいものを安く”の実現に取り組んでまいります。また、小商圈型店舗を3店舗新設する予定であり、地域ドミナントのさらなる拡大と企業成長を実現してまいります。

株主の皆様におかれましては引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

進化し、深化する「youme」を
地域になくてはならない存在。私たちは「地域一番店」を目指します。



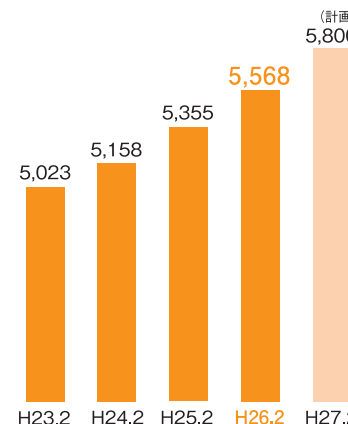
連結財務ハイライト

営業収益	
5,568 億円	前年同期比 104.0 %

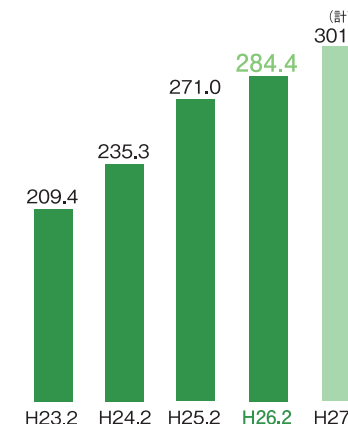
経常利益	
284.4 億円	前年同期比 105.0 %

当期純利益	
173.8 億円	前年同期比 107.4 %

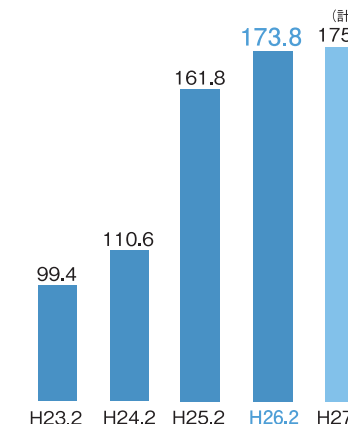
(単位：億円)



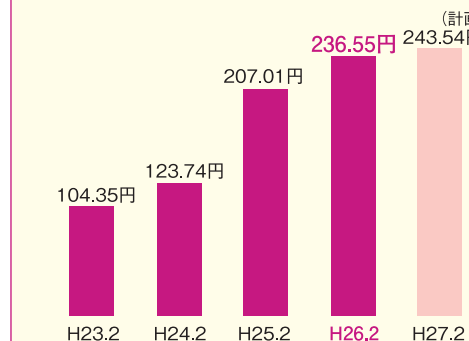
(単位：億円)



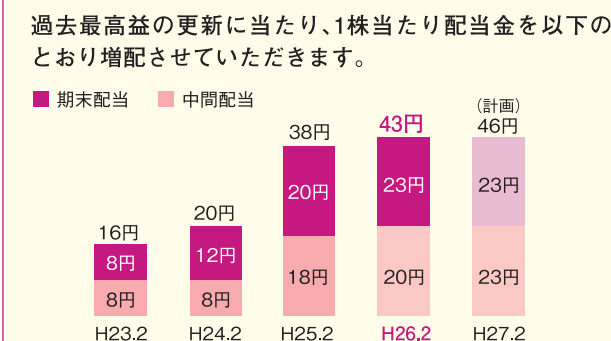
(単位：億円)



1株当たり当期純利益



1株当たり配当金



新司令塔となる新本社、いよいよ稼働開始！ 一兆円企業を目指し、新たな「挑戦と革新」を始めます！

昨年11月25日よりイズミの新司令塔となる新本社の稼働を開始しました。その一番の特長は「コミュニケーションとチームワークの活性化」。新本社内には、活性化のためのさまざまな工夫や環境を整備しています。



オフィス

司令塔の基盤となるオフィスには、最先端IT設備とセキュリティシステムを構築。快適性と創造性あふれる環境デザインと、席を固定しないフリーアドレスにより、コミュニケーションを活性化しています。



ゆめホール(大研修室)

最大300人までの会議や研修を開催可能なホールを整備しています。テレビ会議の開催も可能で、本社と店舗とリアルタイムで情報を共有化できます。



社員食堂

最上階に、開放感と眺望ゆたかな社員食堂を整備しました。仕事のリフレッシュとともに、普段接点のない社員同士のコミュニケーションの場としても役立っています。



ゆめ図書館

ビジネスや流通業に関する専門書をはじめ、各種スキルアップに関する図書や雑誌などを豊富に揃えた図書館を設置しています。売場づくりや商品開発のヒントにも活用されています。

イズミ史料館

原爆投下後の広島への復興とイズミ創業からの歩みを伝える史料館です。懐かしい秘蔵写真を数多く展示しており、一般の人にも開放し喜ばれています。

column

>>> 都市型スーパー「ゆめマート二葉の里」を併設

新本社1階には、フードを中心に日用品を数多く取り揃えた都市型スーパー「ゆめマート二葉の里」を併設しております。近隣にお住まいの方やオフィスにお勤めの方、JR広島駅をご利用の方などにご好評いただいています。

【営業時間】
9:00~24:00 (年中無休)
【店舗面積】約1,970m²

最大級の「ゆめタウン」、 廿日市市でプロジェクト始動！

イズミは廿日市市と連携して街づくりのシンボル施設として、「ゆめタウン廿日市(仮称)」の開業準備を進めています。2015年春のオープンをめざしていよいよ工事を開始した廿日市プロジェクトの概要をご紹介します。

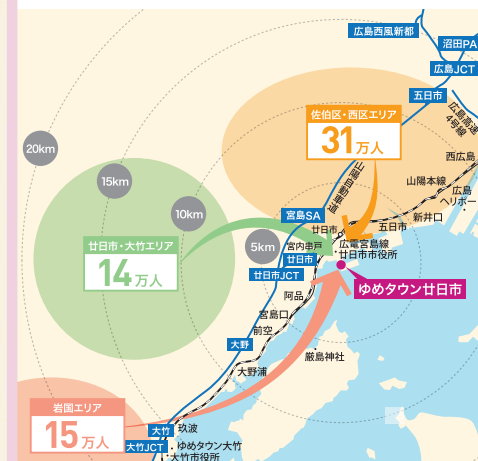


水と公園、花と桜に包まれた「ゆめタウン廿日市」

2015年春オープン予定！

「ゆめタウン廿日市」は、廿日市市が新都心開発事業として推進している「シビックコア地区」のシンボル施設として位置づけられています。シビックコアは、行政機能と文化施設、商業施設が凝縮されたエリアで、まさに廿日市市の新しいコアとなることが期待されています。周囲には親水公園や桜並木も整備され、この一帯は廿日市市民の憩いや活動の中心地になる予定です。

・敷地面積/約61,000m² ・延床面積/約182,000m²
・店舗面積/約50,000m² ・駐車台数/約4,000台



広域60万人商圏と三世代ターゲット

商圏設定は半径20km以内。平日は廿日市市内から日常的にアクセスしやすく、土日は広島市佐伯区・西区、西は岩国市などから、広域60万人の集客が期待できる好立地です。これらすべてのお客様にご満足いただけるよう、三世代をターゲットにした店づくりを基本としています。広島県内外の有名店の名品を揃えたコーナー、1200坪という巨大フード市場、最先端のトレンドファッションゾーン、900席のフードコートと20以上の飲食専門店など、規模ばかりではなく、わくわくも感動も想像をはるかに超えたスケールです。

ゆめタウンとゆめマートに続いて第3の業態、「ゆめモール」の展開を開始しました！

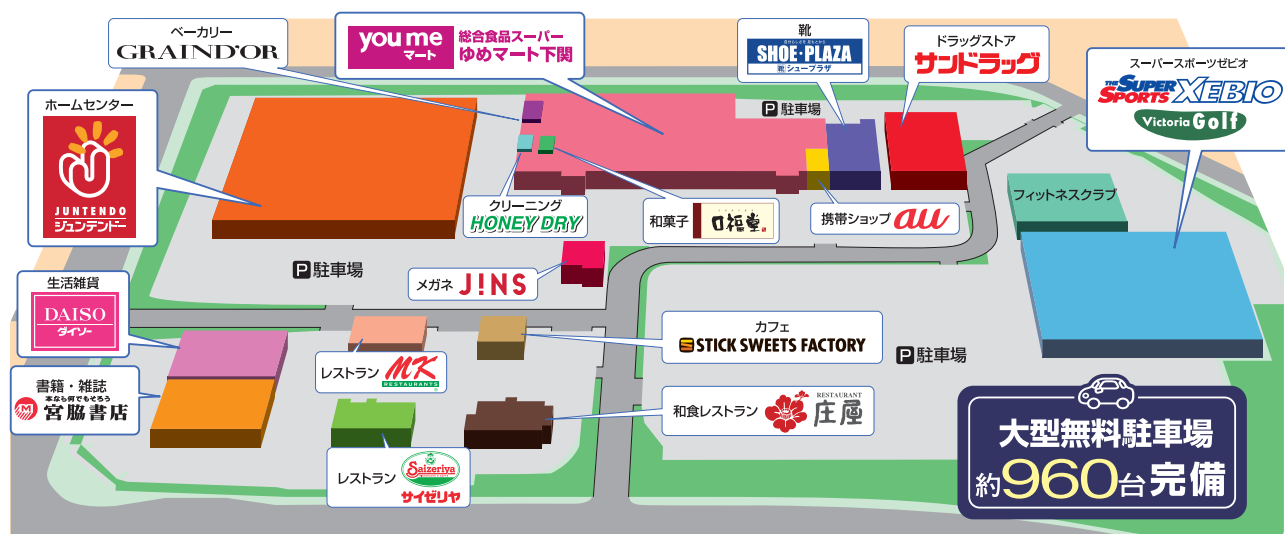
イズミは、これまで大商圏向けの複合型ショッピングセンター「ゆめタウン」と、小商圏向けの食品を中心としたスーパー「ゆめマート」を展開してきました。そしてこのたび「ゆめマート」を核として日用品の大型専門店を集結した、第3の業態「ゆめモール」戦略をスタートしました。3つの店舗フォーマットにより、今後さらにきめ細かな出店戦略を展開していきます。

ゆめマートと大型デイリー専門店が集結した 新業態「ゆめモール」

「ゆめモール」は、食品スーパー「ゆめマート」を中心に、書店やドラッグストア、ホームセンターなどの日用品を扱う大型専門店を一か所に集結させた、近隣型のショッピングセンターです。大きな敷地に複数のショップが広い駐車場を共有することで、

消費者にとっては日常的な最寄り品をワンストップで買い回れるため、利便性が増すメリットがあります。毎日でも利用したくなる身近なショッピングセンター、それが新業態「ゆめモール」です。

■ゆめモール業態概念図（イメージ）



魅力的な専門店がフラットに集結。駐車場から店舗までの距離が近く、楽々ショッピングが可能です。

ゆめモール下関

平成25年11月14日グランドOPEN!

広大なパーキングに11の大型専門店棟を展開！

「ゆめモール下関」は中国自動車道下関IC、国道2号線などの広域幹線道路の集約エリアに位置し、新下関卸団地に隣接する運輸・物流の結節点という好立地に開業しました。核となる「ゆめマート下関」は「いいものが圧倒的に安い」をキーワードに、食生活を豊かにする価値ある商品を地域一番の価格で提供しています。また敷地内には「スーパースポーツゼビオ」「ジュンテンドー」、山口初出店のメガネの「JINS」、レストラン「サイゼリヤ」など11の人気専門店が集結し、圧倒的な集客力を実現しています。



店舗概要 ・敷地面積/約71,500㎡ ・延床面積/約19,000㎡ ・店舗面積/約13,500㎡ ・駐車台数/約960台

ゆめモール柳川（仮称）

平成26年夏 OPEN予定!

ゆめモール型店舗として九州エリア初出店！

西鉄柳川駅東部ゾーンの活力創出を支援。

「ゆめモール下関」に続き、福岡県柳川市に九州初の「ゆめモール」の開業準備を進めています。柳川市では現在西鉄柳川駅エリアの活性化のための整備を進めており、「ゆめモール柳川（仮称）」は商業ゾーン創出のための中心施設と位置づけられています。ここには「ゆめマート」を中心に、家電「ケーズデンキ」、スポーツ「ヒマラヤ」、シューズ「ABCマート」、紳士服「アオキ」、回転寿司「かっぱ寿司」などの多彩な専門店が集結します。

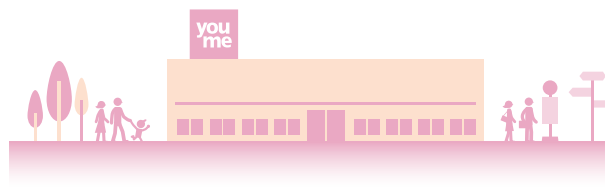


店舗概要 ・敷地面積/約48,400㎡ ・延床面積/約17,000㎡ ・店舗面積/約12,000㎡ ・駐車台数/約800台

新店舗、ぞくぞくオープン!

「ゆめタウン」「ゆめマート」「ゆめモール」を3本柱に出店戦略をすすめていきます。

今後も「youme」シリーズで積極的に出店していく予定です。



ゆめタウン玉名

平成25年10月23日
OPEN!

店舗概要 ・敷地面積/約21,000㎡ ・延床面積/約9,700㎡ ・店舗面積/約6,900㎡ ・駐車台数/454台

普段生活に便利な23の専門店を集結!

市役所やJR玉名駅に近く、多くの市民が行き交う玉名市の中心部に、「ゆめタウン玉名」がオープンしました。

店内には食品スーパーをはじめ、ドラッグストア「ゆめドラッグ」、ファッションセンター「ゆめスタイル」など23の専門店をコンパクトに集約し、毎日の生活に便利なサービス機能をワンストップで提供しています。



ゆめマート阿賀店

平成25年11月21日
OPEN!

店舗概要 ・敷地面積/約6,600㎡ ・延床面積/約3,200㎡ ・店舗面積/約2,200㎡ ・駐車台数/約120台

地域に寄り添う鮮度自慢のスーパー!

東広島呉道路と国道185号線の交差点に位置し、広域からのアクセスはもちろん、近隣住宅地からの自転車や徒歩での来店も便利な立地。単身者や30歳代の子育て世代が多い地域で、「いいものが安い」を合い言葉に、鮮度一番の価値ある商品を便利な仕様で提供しています。



ゆめマート田崎店

平成25年12月16日
OPEN!

店舗概要 ・敷地面積/約14,250㎡ ・延床面積/約6,300㎡ ・店舗面積/約4,400㎡ ・駐車台数/約300台

毎日の暮らしをもっと便利に、もっと素敵に。

主要県道28号線に面し、熊本市民の台所として親しまれている熊本地方卸売市場(通称:田崎市場)に隣接する場所に、「ゆめマート田崎」がオープンしました。

イズミ直営の食品スーパーをはじめ、「ゆめドラッグ」「ゆめスタイル」など12の専門店を、店内にコンパクトに集約。価格と鮮度、買いやすさにこだわったワンストップショッピングセンターです。



ゆめマート松橋店

平成26年3月25日
OPEN!

店舗概要 ・敷地面積/約13,000㎡ ・延床面積/約6,700㎡ ・店舗面積/約4,900㎡ ・駐車台数/約260台

地域に根ざしたショッピングセンター。

「ゆめマート松橋」は、地域に密着した小商圏型店舗です。「いいものが安い」を基本コンセプトに、店内には食品スーパーをはじめ、ドラッグストア「ゆめドラッグ」、ファッションセンター「ゆめスタイル」など、11の専門店をコンパクトに集約しています。



CSR column

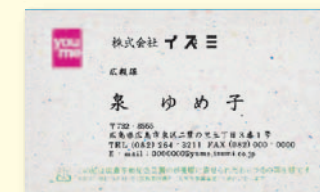
■「ゆめか」と「nanaco」相互利用トライアル開始

大好評の電子マネー「ゆめか」が、昨年12月から広島市内のセブンイレブン19店舗でも利用できるようになりました。これはイズミとセブン&アイ・ホールディングスの連携により実現したもので、すでにゆめタウン3店舗で「nanaco」利用をはじめており、このたび相互利用の幅がさらに広がったこととなります。今後は互いに利用可能な店舗を、さらに広げていく予定です。



■ 平和のおりづる再生紙の名刺

新本社の稼働と同時に、イズミ本社社員の名刺素材を「おりづる再生紙」に変更しました。この再生紙は、平和への願いを込めて折られた「折り鶴」を再生したものです。名刺1枚につき1円を「広島市原爆ドーム保存事業基金」に寄付することで、平和活動にも貢献しています。



ともに「夢」を育てるイズミグループ

イズミグループは、小売事業を中核とし、無駄のないスリムなグループ構造を維持すると同時に、その他関連事業とのシナジー効果を追求してまいります。
各グループ企業が、それぞれの特性を活かしつつ、積極的に事業展開することで、お客様に新たな驚きと感動をお届けしてまいります。



株式会社西紅を吸収合併し、地域に密着したスーパーとして、より一層の効率改善に取り組みます。

株式会社 ゆめマート

(株)ゆめマート及び当社の子会社である(株)西紅は、熊本県内において食品スーパー『ゆめマート』を展開し、これまで相互に連携しながら、お互いの経営資源を活用しあい地域密着型小売業としての成長を志向してまいりました。この度、経営の一段の効率化を行うべく、両社は平成26年6月1日をもって合併いたします。今回の合併により、品揃え、サービスの改善を図り、出店地域の皆様のさらなるご満足の向上を図ってまいります。



ゆめか累計発行枚数350万枚達成！ますます身近な電子マネーに！

株式会社 ゆめカード

電子マネー「ゆめか」は発行枚数350万枚を突破いたしました。広島東洋カープなどの「スポーツチーム提携ゆめか」ならびに「ゆめか一体型クレジットカード」はご利用会員様から好評をいただいております。今後は、サービスの拡充・コンビニエンスストア等の利用先拡大もあわせて推進してまいります。
また、電子マネー・クレジットカードのシステムを他企業へ提供するASP事業の利用実績(4社)も順調に拡大しており、さらなる拡大を図ってまいります。



イズミテクノは外部への業務拡大に挑戦しながら地域文化の情報発信にも協力しています。

株式会社 イズミテクノ

イズミテクノは平成25年度から指定管理者として広島県民文化センターの管理・運営業務を行っています。施設管理業務をはじめ、広島県の伝統芸能である「神楽(かぐら)」の定期公演を自主事業として実施し、その多彩な魅力の発信、広島の観光資源の開発、賑わいづくりに努めています。今年度は、12月までの毎週水曜日計38回上演予定です。「街と週のと真ん中、神楽を楽しむ水曜日。」をキャッチコピーに、皆さまのご来館をお待ちしております。



神楽「八岐大蛇」



広島県民文化センター

「上質化」をキーワードに付加価値向上を目指してまいります！

イズミ・フード・サービス 株式会社

当社は、直営事業の「たこ一番」(たこ焼き)「お好み一番地」(広島焼き)、フランチャイズ事業の「ミスタードーナツ」「サーティワンアイスクリーム」を主要事業として展開しており、第5の柱とすべくフランチャイズ事業の「大阪王将」に注力しております。「大阪王将」事業は、2011年1月に1号店を出店して以降、2013年度には4店舗を新規出店し、10店舗体制となりました。今後は主要5事業の更なる拡大を図るとともに、従業員・商品・店舗の上質化を図り、お客様に付加価値を提供してまいります。



大阪王将

業績ハイライト

営業収益 5,568 億円	前年同期比 104.0%	経常利益 284.4 億円	前年同期比 105.0%	当期純利益 173.8 億円	前年同期比 107.4%
--------------------------------	------------------------	--------------------------------	------------------------	---------------------------------	------------------------

連結決算の推移

単位:百万円

	平成23年2月期	平成24年2月期	平成25年2月期	平成26年2月期	平成27年2月期計画
営業収益	502,379	515,875	535,510	556,852	580,000
前期比	102.1%	102.7%	103.8%	104.0%	104.2%
営業利益	21,783	24,254	27,949	29,100	31,100
前期比	106.7%	111.3%	115.2%	104.1%	106.9%
経常利益	20,949	23,539	27,102	28,446	30,100
前期比	106.2%	112.4%	115.1%	105.0%	105.8%
当期純利益	9,941	11,062	16,187	17,384	17,500
前期比	113.6%	111.3%	146.3%	107.4%	100.7%
総資産	368,584	370,377	379,824	397,071	—
純資産	132,513	125,389	126,139	130,178	—
1株当たり利益	104.35円	123.74円	207.01円	236.55円	243.54円
1株当たり純資産	1,286.20円	1,388.45円	1,541.32円	1,672.92円	—

単体決算の推移

単位:百万円

	平成23年2月期	平成24年2月期	平成25年2月期	平成26年2月期	平成27年2月期計画
営業収益	480,602	494,158	514,105	535,492	561,900
前期比	102.3%	102.8%	104.0%	104.2%	104.9%
営業利益	17,716	19,948	23,431	24,785	26,900
前期比	105.7%	112.6%	117.5%	105.8%	108.5%
経常利益	16,505	19,086	22,448	23,941	25,500
前期比	106.7%	115.6%	117.6%	106.7%	106.5%
当期純利益	8,180	8,965	12,508	15,549	15,600
前期比	104.3%	109.6%	139.5%	124.3%	100.3%
総資産	319,783	320,942	324,183	337,700	—
純資産	106,301	96,502	95,766	98,684	—
1株当たり配当金	16.00円	20.00円	38.00円	43.00円	46.00円

連結財務諸表

[連結] 貸借対照表

単位:百万円

	前期 H25.2.28	当期 H26.2.28		前期 H25.2.28	当期 H26.2.28
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	64,372	70,895	流動負債	111,881	123,813
現金及び預金	6,862	6,800	支払手形及び買掛金	21,517	23,191
受取手形及び売掛金	22,134	25,482	短期借入金	41,625	46,726
商品	21,384	24,125	1年内返済予定の長期借入金	23,579	23,249
仕掛品	16	84	未払金	7,121	12,389
原材料及び貯蔵品	286	319	未払法人税等	6,541	5,287
繰延税金資産	2,579	2,631	賞与引当金	1,466	1,451
その他	11,771	12,086	ポイント引当金	1,655	1,817
貸倒引当金	△ 661	△ 635	その他	8,374	9,700
固定資産	315,451	326,175	固定負債	141,802	143,079
有形固定資産	274,687	284,033	長期借入金	101,625	103,471
建物及び構築物	131,862	133,474	リース債務	557	503
機械装置及び運搬具	1,260	1,409	預り敷金保証金	23,467	22,966
土地	131,876	141,011	退職給付引当金	6,358	6,540
リース資産	596	513	役員退職慰労引当金	1,203	1,241
建設仮勘定	3,876	1,477	利息返還損失引当金	403	329
その他	5,215	6,147	繰延税金負債	1,193	1,074
無形固定資産	7,012	7,418	資産除去債務	6,399	6,501
のれん	545	431	その他	592	449
借地権	4,081	4,083	負債合計	253,684	266,892
ソフトウェア	1,148	2,010	(純資産の部)		
その他	1,236	893	株主資本	115,067	119,652
投資その他の資産	33,751	34,723	資本金	19,613	19,613
投資有価証券	4,810	6,164	資本剰余金	22,282	22,282
長期貸付金	1,520	1,504	利益剰余金	80,942	94,517
繰延税金資産	5,339	5,468	自己株式	△ 7,770	△ 16,760
差入敷金及び保証金	17,249	16,965	その他の包括利益累計額	312	558
その他	5,253	5,040	少数株主持分	10,759	9,966
貸倒引当金	△ 421	△ 419	純資産合計	126,139	130,178
資産合計	379,824	397,071	負債・純資産合計	379,824	397,071

資産	3,970 億円
	前期末比 ▶ 172億円増加
負債	2,668 億円
	前期末比 ▶ 132億円増加
純資産	1,301 億円
	前期末比 ▶ 40億円増加

- ・店舗新設及び本社移転等の設備投資により、有形固定資産は、減価償却実施後で9,346百万円増加しました。
- ・受取手形及び売掛金は、クレジット取扱高の増加により3,348百万円増加しました。
- ・未払金は、新設店舗及び本社移転に係る設備未払金等の増加等により、5,267百万円増加しました。
- ・短期借入金及び長期借入金は、設備投資及び自己株式取得資金に充当するため、6,616百万円増加しました。
- ・利益剰余金は、配当金の支払及び会計方針の変更により減少したものの、内部留保額の上積みにより13,574百万円増加しました。
- ・自己株式は、期中に3,001千株取得(買取請求分を含む)しました。その結果、自己株式の残高は8,989百万円増加しました。
- ・これらの結果、自己資本比率は30.3%となり、前期末に比べて0.1ポイント減少しました。

連結財務諸表

[連結] 損益計算書

	単位:百万円	
	前期 H24.3.1~H25.2.28	当期 H25.3.1~H26.2.28
営業収益	535,510	1 → 556,852
売上高	510,438	530,871
売上原価	401,857	418,677
売上総利益	108,580	112,193
営業収入	25,071	25,981
営業総利益	133,652	138,175
販売費及び一般管理費	105,703	109,074
営業利益	27,949	29,100
営業外収益	1,237	1,428
受取利息及び配当金	210	216
仕入割引	386	361
債務勘定整理益	94	97
その他	545	752
営業外費用	2,084	2,082
支払利息	1,836	1,716
その他	248	365
経常利益	27,102	2 → 28,446
特別利益	1,352	2,213
固定資産売却益	32	1,528
関係会社株式売却益	117	—
有価証券売却益	—	584
負のれん発生益	745	—
貸倒引当金戻入額	400	—
その他	56	101
特別損失	1,332	2,704
固定資産売却損	151	10
固定資産除却損	568	432
減損損失	470	2,054
その他	142	207
税金等調整前当期純利益	27,122	27,955
法人税等	10,506	10,392
少数株主利益	429	178
当期純利益	16,187	3 → 17,384

1 営業収益 5,568億円 前期比 ▶ 104.0%

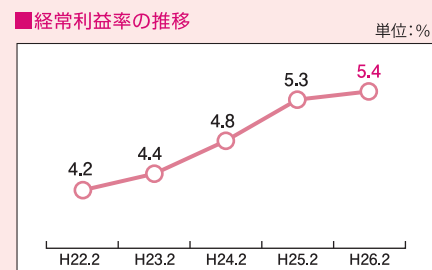
付加価値の高い商品を競争力ある価格で提供し、売場の鮮度感を高めつつ販売増加に結びつけました。また、有力テナントへの入れ替えを促進し、既存店舗の競争力を向上させました。これらにより販売動向は全般的に好調に推移し、当社の既存店売上高は前期比2.7%増となりました。

2 経常利益 284.4億円 前期比 ▶ 105.0%

堅調な販売動向を受けて売上総利益が増加するとともに、人的生産性の改善による人件費の抑制等に努めました。これらの結果、経常利益は最高益を更新する増益を果たすとともに、売上対比率も5.4%前期比0.1ポイント改善しました。

3 当期純利益 173.8億円 前期比 ▶ 107.4%

特別利益は固定資産売却益1,528百万円等を計上しました。一方、特別損失は本社移転に伴う旧本社に係る減損損失等2,054百万円等を計上しました。また、1株当たり当期純利益は、期中に自己株式を3,001千株(買取請求分を含む)取得した効果も加わり、236.55円(前期比29.54円増)となりました。



[連結] キャッシュ・フロー計算書

	単位:百万円	
	前期 H24.3.1~H25.2.28	当期 H25.3.1~H26.2.28
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前純利益	27,122	27,955
減価償却費	13,464	12,827
減損損失	470	2,054
固定資産除却損	568	432
負のれん発生益	△ 745	—
売上債権の増減額	△ 1,778	△ 3,397
法人税等の支払額	△ 10,245	△ 11,574
その他	△ 1,661	△ 2,615
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,196	25,683
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 20,066	△ 25,381
無形固定資産の取得による支出	△ 432	△ 1,449
その他	142	6,882
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 20,356	△ 19,948
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長短借入金の変動	9,230	6,616
自己株式の取得による支出	△ 11,137	△ 8,989
配当金の支払額	△ 2,410	△ 2,994
その他	△ 1,955	△ 133
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,272	△ 5,501
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	602	242
現金及び現金同等物の期首残高	6,260	6,862
連結の範囲変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△ 304
現金及び現金同等物の期末残高	6,862	6,800

[連結] 株主資本等変動計算書

	株主資本					その他の包括利益累計額	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計			
当期首残高	19,613	22,282	80,942	△ 7,770	115,067	312	10,759	126,139
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	△ 835	—	△ 835	—	—	△ 835
会計方針の変更を反映した当期首残高	19,613	22,282	80,107	△ 7,770	114,232	312	10,759	125,304
連結会計年度中の変動額	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△ 2,974	—	△ 2,974	—	—	△ 2,974
当期純利益	—	—	17,384	—	17,384	—	—	17,384
自己株式の取得	—	—	—	△ 8,989	△ 8,989	—	—	△ 8,989
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	245	△ 792	△ 546
連結会計年度中の変動額合計	—	—	14,409	△ 8,989	5,420	245	△ 792	4,873
当期末残高	19,613	22,282	94,517	△ 16,760	119,652	558	9,966	130,178

営業活動によるキャッシュ・フロー 256億円の収入

- ・主な収入項目は、税金等調整前当期純利益27,955百万円、減価償却費12,827百万円です。
- ・主な支出項目は、法人税等の支払額11,574百万円、売上債権の増加額3,397百万円です。
- ・前期と比較すると1,512百万円減少していますが、これは主に堅調な業績の一方でクレジットのショッピング利用の推進により、売上債権が増加したこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー 199億円の支出

- ・主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出25,381百万円です。これは主に、当期の店舗新設及び本社移転に関わるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー 55億円の支出

- ・主な収入項目は、短期借入金の純増5,101百万円及び長期借入れによる収入25,100百万円です。
- ・主な支出項目は、長期借入金の返済23,584百万円及び自己株式の取得8,989百万円です。

単体財務諸表

[単体] 貸借対照表

単位:百万円

	前期 H25.2.28	当期 H26.2.28		前期 H25.2.28	当期 H26.2.28
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	37,262	39,980	流動負債	93,006	100,451
現金及び預金	2,985	3,167	買掛金	19,091	19,980
売掛金	5,902	6,349	短期借入金	30,032	33,982
商品	20,043	22,532	1年内返済長期借入金	22,605	21,832
繰延税金資産	2,243	2,288	未払金	6,580	10,783
短期貸付金	2,371	2,136	未払法人税等	5,475	4,285
その他	3,807	3,594	賞与引当金	1,254	1,232
貸倒引当金	△ 90	△ 88	ポイント引当金	1,651	1,813
固定資産	286,921	297,719	その他	6,315	6,540
有形固定資産	242,567	252,854	固定負債	135,411	138,563
建物	116,781	116,886	長期借入金	99,436	102,604
土地	113,726	122,212	退職給付引当金	5,621	5,883
建設仮勘定	716	1,476	預り敷金	19,675	19,698
その他	11,344	12,279	預り保証金	2,212	1,938
無形固定資産	5,740	6,209	資産除去債務	6,305	6,404
借地権	4,067	4,069	その他	2,160	2,033
その他	1,673	2,140	負債合計	228,417	239,015
投資その他の資産	38,612	38,655	(純資産の部)		
投資有価証券	2,955	3,197	株主資本	95,348	98,098
関係会社株式	3,150	3,150	資本金	19,613	19,613
繰延税金資産	4,549	4,745	資本剰余金	22,282	22,282
差入敷金	11,869	12,018	利益剰余金	61,220	72,960
差入保証金	9,893	9,593	自己株式	△7,768	△16,757
その他	6,513	6,264	評価・換算差額等	418	586
貸倒引当金	△ 319	△ 314	純資産合計	95,766	98,684
資産合計	324,183	337,700	負債・純資産合計	324,183	337,700

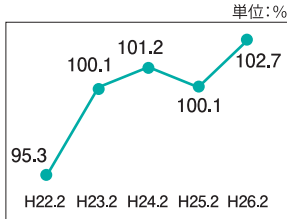
新規出店と閉店

期末店舗数	102 店舗
新設	11 店舗
閉店	1 店舗

既存店売上高前年比

既存店売上高前年比	102.7%
客数前年比	100.5%
客単価前年比	101.9%

既存店売上高前年比



[単体] 損益計算書

単位:百万円

	前期 H24.3.1~H25.2.28	当期 H25.3.1~H26.2.28
営業収益	514,105	535,492
売上高	489,416	509,897
売上原価	392,036	409,415
売上総利益	97,380	100,482
営業収入	24,689	25,594
営業総利益	122,069	126,076
販売費及び一般管理費	98,638	101,291
営業利益	23,431	24,785
営業外収益	1,062	1,197
受取利息及び配当金	226	228
仕入割引	385	360
その他	450	608
営業外費用	2,045	2,041
支払利息	1,861	1,745
その他	183	295
経常利益	22,448	23,941
特別利益	453	2,294
固定資産売却益	32	1,576
投資有価証券売却益	4	0
特別配当金	416	717
特別損失	1,667	1,919
固定資産売却損	149	0
固定資産除却損	472	278
減損損失	308	1,641
抱合せ株式消滅差損	736	—
税引前当期純利益	21,233	24,316
法人税等調整額	8,725	8,767
当期純利益	12,508	15,549

[単体] 株主資本等変動計算書

単位:百万円

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計		
当期首残高	19,613	22,282	61,220	△ 7,768	95,348	418	95,766
会計方針の変更による累積的影響額			△ 835		△ 835		△ 835
会計方針の変更を反映した当期首残高	19,613	22,282	60,385	△ 7,768	94,512	418	94,930
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△ 2,974		△ 2,974		△ 2,974
当期純利益			15,549		15,549		15,549
自己株式の取得				△ 8,989	△ 8,989		△ 8,989
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)					—	168	168
事業年度中の変動額合計	—	—	12,574	△ 8,989	3,585	168	3,753
当期末残高	19,613	22,282	72,960	△ 16,757	98,098	586	98,684

営業収益

5,354 億円 前期比 104.2%

経常利益

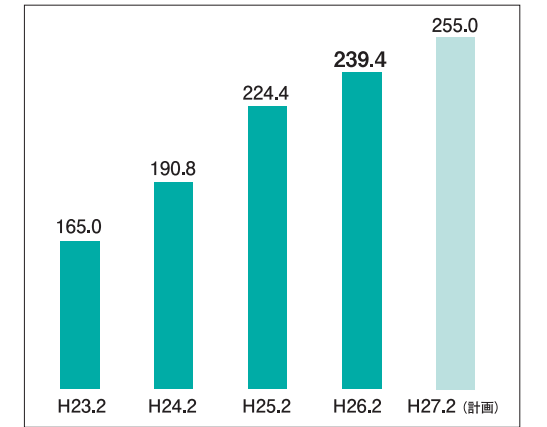
239.4 億円 前期比 106.7%

当期純利益

155.0 億円 前期比 124.3%

経常利益(単体)の推移

単位:億円



■ 会社概要 (平成26年2月28日現在)

設立年月日 昭和36年10月27日
 本社所在地 広島市東区二葉の里三丁目3番1号
 TEL 082-264-3211(代)
 資本金 19,613,856,196円
 従業員 正社員 2,351名
 パートタイマー 4,631名(1日8時間換算)
 店舗数 102店

中国地方 61店
 広島県 33店 岡山県 10店
 山口県 12店 島根県 6店

九州地方 26店
 福岡県 13店 佐賀県 2店
 大分県 2店 長崎県 2店
 熊本県 7店

その他 15店
 香川県 3店 兵庫県 5店
 徳島県 1店 その他 6店

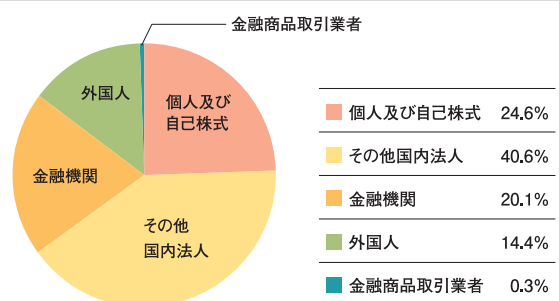
■ 役員一覧 (平成26年5月22日現在)

取締役会長 山西 義政
 代表取締役社長 山西 泰明
 専務取締役 梶原 雄一朗
 専務取締役 三家本 達也
 専務取締役 吉田 恒彦
 取締役 中村 豊三
 常勤監査役 川本 邦昭
 監査役 松原 治郎
 監査役 通堂 泰幸

■ 株式の状況 (平成26年2月28日現在)

発行可能株式総数 195,243,000株
 発行済株式の総数 78,861,920株
 株主数 4,177名
 1単元の株式数 100株

■ 単元株式の所有状況

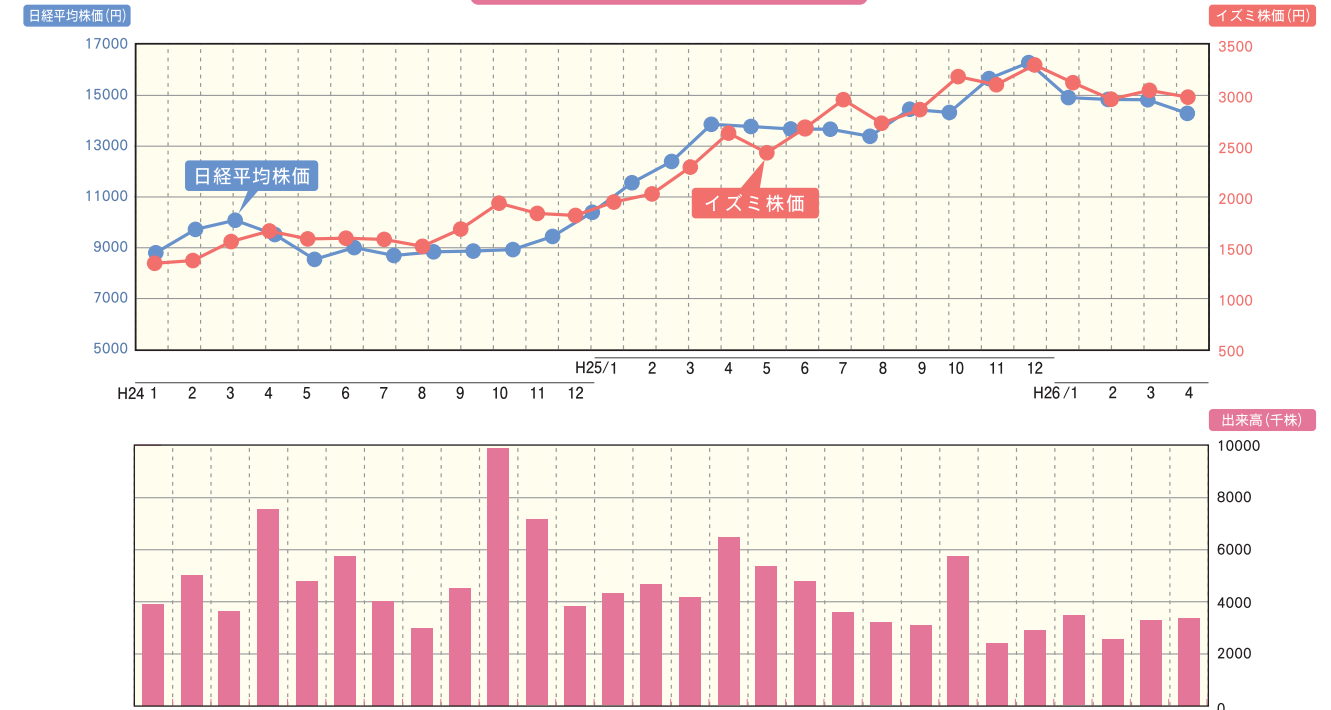


■ 大株主の状況 (平成26年2月28日現在)

株主名	持株数	持株比率
(有)泉屋	11,501千株	16.0%
山西ワールド(有)	8,433千株	11.7%
(株)泉興産	4,104千株	5.7%
日本スタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,498千株	3.5%
(株)広島銀行	2,362千株	3.3%
日本生命保険(相)	2,353千株	3.3%
イズミ広島共栄会	2,209千株	3.1%
山西 泰明	2,035千株	2.8%
第一生命保険(株)	2,030千株	2.8%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,559千株	2.2%

(注)持株比率は、自己株式(7,001千株)を控除して計算しています。

■ 株価の推移



■ 株主優待制度

株主ご優待券またはギフト券

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、「株主ご優待券」か「ギフト券」をお選びいただき、ご所有株式数に応じて以下の通りお贈りいたします。

ご所有株式数	一回当たり贈呈額	
	株主ご優待券の場合	ギフト券の場合
100株以上	5枚 (1,000円相当)	500円相当
1,000株以上	25枚 (5,000円相当)	一律 2,000円相当
2,000株以上	50枚 (10,000円相当)	
4,000株以上	100枚 (20,000円相当)	
6,000株以上	150枚 (30,000円相当)	
8,000株以上	200枚 (40,000円相当)	
10,000株以上	250枚 (50,000円相当)	

※「株主ご優待券」は、2千円以上のお買上につき、2千円ごとに各1枚(200円割引券)をご使用いただけます。

■ 泉美術館ご招待券の贈呈

平成26年2月28日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様へ「泉美術館ご招待券」を贈呈させていただきます。

本物の文化とやすらぎを…。
 公益財団法人 **泉美術館**

■ 開館時間
 午前10時から午後5時
 (入館は午後4時30分まで)
 ■ 休館日
 月曜日(祝祭日は開館)、年末年始
 ※展示替えによる臨時休館あり
 ■ 住所
 〒733-0833 広島市西区商工センター2丁目3番1号 エクセル5階
 TEL (082) 276-2600
 ■ ホームページ <http://www.izumi-museum.jp/>